

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	1. 議会費	事業名	8. 議員改選時事業費		
項	1. 議会費	細事業名			
目	1. 議会費	担当課・係	議会事務局	(執行課： 議会事務局)	

予算分析	臨時経費	新規事業	単独事業	(単位:千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	2,417	要求								2,417
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策								
		施策体系コード*					事業番号			
		総事業費					事業期間			
		年度別事業費								
(事業実施に関する根拠法令)										

<事業に関する説明>

<事業に関する説明>

(事業の説明) 議員改選に伴う経費	(事業の目的) 適正な議会運営の確立及び開かれた議会活動を目指す	(事業の効果) 当選議員に関わる諸経費及び議場ほか議会棟の設備に関する諸経費を計上することで、円滑な運営が図れる。
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見直しについての特記事項)

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	2. 総務費	事業名	1. 県議会議員選挙費		
項	4. 選挙費	細事業名			
目	4. 県議会議員選挙費	担当課・係	選挙管理委員会事務局	(執行課: 選挙管理委員会事務局)	

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳	県支出金							一般財源
要求額	44,085	36,869	要求	44,085							△7,216
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施策									
		施策体系コード					事業番号				
		総事業費					事業期間				
		年度別事業費									

<事業に関する説明>			(事業実施に関する根拠法令) 公職選挙法 国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律								
(事業の説明) 平成23年4月10日執行予定の千葉県議会議員一般選挙の管理執行事務。			(事業の目的) 千葉県議会議員一般選挙の管理執行				(事業の効果) 千葉県議会議員一般選挙の適正な執行				
(事業実施上の問題点)			(前年度からの見直し点)				(見直しについての特記事項)				

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	2. 総務費	事業名	1. 市長及び市議会議員選挙費		
項	4. 選挙費	細事業名			
目	5. 市長及び市議会議員選挙費	担当課・係	選挙管理委員会事務局	(執行課: 選挙管理委員会事務局)	

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業	(単位: 千円)						
	(歳入)	(歳出)	財源内訳							一般財源
要求額	0	99,897	要求							99,897
決定額			決定							

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策								
		施策体系コード					事業番号			
		総事業費					事業期間			
		年度別事業費								
			(事業実施に関する根拠法令) 公職選挙法							
＜事業に関する説明＞										

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 平成23年4月24日執行予定の佐倉市長選挙及び佐倉市議会議員一般選挙の管理執行	(事業の目的) 佐倉市長選挙及び佐倉市議会議員一般選挙の管理執行	(事業の効果) 佐倉市長選挙及び佐倉市議会議員一般選挙の適正な執行
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見直しについての特記事項)

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	2. 総務費	事業名	99. 農業委員会委員選挙費		
項	4. 選挙費	細事業名			
目	53. 農業委員会委員選挙費	担当課・係	選挙管理委員会事務局	(執行課： 選挙管理委員会事務局)	

予算分析	臨時経費	新規事業	単独事業	(単位: 千円)						
	(歳 入)	(歳 出)	財源内訳							一般財源
要 求 額	0	5,574	要 求							5,574
決 定 額			決 定							

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策								
		施策体系コード					事業番号			
		総事業費					事業期間			
		年度別事業費								
＜事業に関する説明＞		(事業実施に関する根拠法令) 農業委員会等に関する法律 公職選挙法								

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 平成23年7月19日任期満了に伴う佐倉市農業委員会委員選挙の 管理執行	(事業の目的) 佐倉市農業委員会委員一般選挙の管理執行	(事業の効果) 佐倉市農業委員会委員一般選挙の適正な執行
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	5. 農林水産業費	事業名	3. 農地基本台帳電子化推進費		
項	1. 農業費	細事業名			
目	1. 農業委員会費	担当課・係	農業委員会事務局	(執行課： 農業委員会事務局)	
				連絡先	

予算分析	臨時経費	新規事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)		財源内訳	県支出金						一般財源
要求額	2,500	2,793		要求	2,500						293
決定額				決定							

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策								
		施策体系コード					事業番号			
		総事業費					事業期間			
		年度別事業費								
			(事業実施に関する根拠法令) 農業委員会交付金等交付要綱 農業委員会事業実施要領							
＜事業に関する説明＞										

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 農業基本台帳システムにより、農家の経営状況や農地の状況を把握するとともに、農地法(3条、4条、5条、18条等)に伴う処理や利用権設定処理、年金受給に伴う処理、相続に伴う処理等の農業委員会業務を迅速かつ適正に行います。また、農業者年金、農業委員会委員選挙、相続税・贈与税猶予、生産緑地等を一元的に管理することで農家の安定した経営を支援します。農地流動化の推進や遊休農地の解消に寄与します。	(事業の目的) システム導入により農家の経営状況や農地の状況を把握して農家の安定した経営を支援するとともに、農地基本台帳調査における負担軽減を目的にします。	(事業の効果) 農地基本台帳システムの導入により、農家の調査に係る負担軽減が図られるとともに、農家の経営状況や農地の状況を把握することで関係機関と連携した耕作者への適切な支援が可能となり、農家の安定した経営並びに農地の利用集積等による有効利用に寄与します。
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見直しについての特記事項) 生産者の高齢化や担い手不足により遊休農地あるいは耕作放棄地が増加傾向にあることから、農地が荒廃する前に賃貸等により農地の適正な利用を図るとともに農業の魅力を高め担い手を育成していくことが重要です。

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	5. 農林水産業費	事業名	4. 緊急雇用創出事業		
項	1. 農業費	細事業名	1.農地基本台帳電子化推進費		
目	1. 農業委員会費	担当課・係	農業委員会事務局	(執行課： 農業委員会事務局)	

予算分析	臨時経費	新規事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳 入)	(歳 出)	財源内訳	県支出金							一般財源
要 求 額	6,914	6,914	要 求	6,914							0
決 定 額			決 定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策								
		施策体系コード					事業番号			
		総事業費					事業期間			
		年度別事業費								
			(事業実施に関する根拠法令) 千葉県緊急雇用創出事業補助金交付要綱							
＜事業に関する説明＞										

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 平成23年度に導入を予定しております農地基本台帳システムに、農業委員会が管理しています農家世帯員や利用権設定等の各種データを移行(パンチ入力)するものであり、新規事業として雇用を創出するものです。	(事業の目的) 平成23年度に導入を予定しています農地基本台帳システムの効率的な稼働、農家の安定した経営の支援、農地基本台帳調査における農家の負担軽減、新たな雇用の創出を目的とします。	(事業の効果) 平成23年度に導入を予定しています農地基本台帳システムに、農業委員会が管理しています農家世帯員や利用権設定等のデータを移行(パンチ入力)することで、システムの効率的な稼働、農家の安定した経営の支援、農家基本台帳調査に係る負担軽減等に寄与するとともに新規の雇用を創出します。
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見直しについての特記事項) 農地基本台帳システムを効率的に運用するには、農業委員会で管理しています各種データを効率良く移行(パンチ入力)することが重要です。そのため、常務監督者として導入システムに精通した社員と事務用機器操作に精通した人材による業務の遂行が重要です。